

【中心市街地】『復興まちづくりの方向（案）』～第4・5回懇談会の意見概要②～

口は方向案の柱です。黄色網掛け箇所が第4・5回地区別懇談会における参加者の主な意見です。（※決まった内容や事実確認をした内容、地権者様の理解を得た内容ではありません）

※九日町・紺屋町再生会議（7月21日開催）での検討内容についても、主な意見ではありますが、併せて整理しています。

取組みの柱		具体の取組み（案）
①被災者のくらし再建とコミュニティの再生	【住まい再建】 【コミュニティ再生】	☐ 安全性を高める建て方の誘導（例） ・今後の住まいが決まっていけない方や再建を迷う方への再建方策の提案。 ・再建後に公共事業（例：区画整理など）の対象場所になった場合の対策の提示。 ☐ 町内会の集会所等の再建 ☐ 町内会の連絡網の再整理
②力強い地域経済の再生	【生業再建】	☐ 個々の事業所の再建支援 ・すでに店をオープンしている方達を盛り上げるような支援が必要。 ・市民みんなで旅館等を応援する。「旅館は地産地消」で。 ・観光業従事者向けの寮を兼ねた集合住宅を検討。 ☐ 継続的な賑わい創出の取組 ・チャレンジショップのように、人吉に帰ってきた時に足がかりになる場所があると良い。 ・「人吉にもう一度」と思える場所が必要。 ・若い人が商売できるような場所があり、3年間は家賃を低廉化して支援してもらえると良い。 ・オーナーにとっては、テナント貸しして収入があれば良い。
③災害に負けないまちづくり	【避難対策】	☐ 地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成 ☐ 地区内の主要道路・避難路の整備 ☐ 防災情報の伝達機能の強化 ☐ 自助共助の避難体制の構築 ☐ 来街者・観光客の避難誘導対策 ☐ 実践的な避難訓練の実施 ☐ 垂直避難ができる避難場所の確保 ☐ 車での避難場所（駐車スペース）の確保 ☐ 避難所機能の充実 ☐ 防災・避難支援スペースの確保
	【復興まちづくり】	☐ 中心市街地のランドデザインの作成 ・まちのコンセプト（例）「人よし 川よし 人情よし、ひとよし 酒よし 温泉よし 『あすこは人のよかでなアと、言われる町』」 ・まちのコンセプト（例）「桜の杜 リゾートシティ人吉/1000本の桜を植樹」。「テーマ：自然との調和・共生」。「キーワード：癒し/安らぎ/賢沢な非日常空間/健康/文化/歴史」 ・模型や立体的なCGなど、住民がイメージしやすい表現が必要。 ・人吉駅からのまち歩きを検討。 ☐ 公営住宅の整備 ・地権者が土地を提供するかわりに災害公営住宅へ入居できるようにしたり、住宅の共同化を検討。 ☐ 複合的な交流施設の整備 ・城下町のイメージを優先するなら、その雰囲気合った図書館をつくる。 ・今までの図書館では人が集まらない。武雄図書館のようにスタバ+図書館など、写真映えるスポットを検討。 ・図書館、会議室、物販、飲食など複合的な施設を検討。 ☐ 温泉の活用方策 ・温泉施設（センター）を第3セクターでつくる。 ・あえて温泉センターがないことが人吉の良いところである。 ・新温泉は地元住民、観光客ともに利用が多かった。建物も趣がある。 ・偉人館、食事処、カフェ、温泉カフェ(京都の例)などを検討。 ・銭湯再生が事業として成り立つかどうかの検討が必要。 ・計画とともに誰が管理するのかという方針も同時に検討が必要。 ☐ 歴史的建物や路地空間等を活かした街並み形成 ・城下町として外観を統一する方策を検討（白、ベージュ、アースカラー等）。 ☐ 球磨川を活かしたまちづくり ・堤防を利用したトラック市の開催等を検討。 ☐ 区画整理等による面的なまちづくりの実施 ・区画整理の範囲の早期明示を望む。 ・地権者の意向調査を最優先で行う必要がある。 ☐ 空き地の活用 ・出身著名人に依頼し「・・・の森」というふうオーナー制として管理する仕組みを検討。 ・緑地化、芝生化を検討する。
	【治水・土砂災害対策】	☐ 流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・まちづくりと治水は同時進行である。随時情報提供を希望する。

地区別懇談会だより

Vol.3

中心市街地

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

『地区別懇談会（第4回・第5回）』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。

中心市街地の対象地区は、九日町、七日町、五日町、二日町、鍛冶屋町、大工町、紺屋町、上新町、下新町、鶴田町、北泉田町、南泉田町です。

◆第4回地区別懇談会

- 1 治水対策に関する国・県からの説明
- 2 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
 - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向（更新案）について
- 3 地区ごとの話し合いと全体共有
 - ・復興まちづくりの具体的なイメージ案について
- 4 今後の進め方について

開催日時：7月19日(月)18時半から
開催場所：人吉東小学校体育館
参加人数：54名

◆第5回地区別懇談会

- 1 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
 - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向（更新案）について
- 2 地区ごとの話し合いと全体共有
 - ・復興まちづくりの具体的な取組み方向・イメージや手法案について
- 3 今後の進め方について

開催日時：7月26日(月)18時から
開催場所：人吉東小学校体育館
参加人数：37名

復興まちづくり計画の策定に向けて

地区別懇談会での検討をもとに、10月頃を目途に具体的な復興まちづくりの取組をまとめた「復興まちづくり計画」を策定します。

◆地区別懇談会の参加方法

- ・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。
- ※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただけます。
- ・参加申込は随時受け付けておりますので、復興支援課までお問合せください。
- 多くの方のご参加をお待ちしております。

◆地区別懇談会の進め方

- ・9～10月の間に、概ね月1回（1～2回程度）の開催を予定しています。

次の開催予定：第6回 9月16日（木）18時30分より

次のテーマ予定：復興まちづくり計画（素案）等について

会場：人吉東小学校体育館

（注）地区別懇談会については、新型コロナウイルス感染症の状況等で、変更する場合があります。

◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を示すものです。
- ・特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・住民主役の計画づくりに対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- ・計画期間は、令和4～9年度の概ね6年間。（令和3年度からの一部実施も想定）
- ・本計画に基づき、関係者調整含めた精査や具体化検討を進め、段階的な実現をめざします。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線：8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

参加
募集中



【中心市街地】これまでの地区別懇談会意見を踏まえた『復興まちづくりのイメージ（案）』～第4・5回懇談会の意見概要①～

黄色網掛け箇所が第4・5回地区別懇談会の参加者の主な意見です。（※決まった内容や事実確認をした内容、地権者様の了解を得た内容ではありません）

※九日町・紺屋町再生会議（7月21日開催）での検討内容についても、主な意見ではありますが、併せて整理しています。

（中心市街地西側再生案に対する主な意見）

賑わい・観光・交流拠点の形成に関わる意見

- 土地利用**
 - 解体した空き地を集約して、公園の中にカフェがある富山市の環水公園のイメージにしてはどうか？若い人が使いたいような公園ができると良い。例えば、スケートボードやBMXなどができるなど。
 - モゾカタウンのようなものを空き地に。店を持てるように支援、家賃が安く入るようなテナントを用意できるとよい。
- 住まいの再建**
 - まちなかに自宅を再建したいが、まちづくりの方針が分からないと再建できない。再建が決まらないうちに生業のことも考えられたい。
 - ここで再建したいと決まっている人は僅かで、まだ決められない人が多い。土地を手放しても良いという人もいるかもしれない。
 - このままでは再建が難しいが、まとまるのは（共同化は）難しいだろう。
- 新温泉の在り方**
 - 新温泉を中心にした賑わうまち（例えば、全体を嵩上げ、1階を駐車場、2階を飲食店・庭、新温泉は水害を伝える遺構として残す、新温泉を登録文化財に、新温泉をジャッキアップ）。
 - 新温泉はどうなるか？曳家をして道を広げるのも一案ではないか。
- 山田川沿い**
 - 山田川が下流ほど狭いため、浸水リスクがあることを前提とした整備（非住居、商業など）を検討。
 - 山田川の両岸を京都の鴨川の納涼床のようにお酒を楽しむ空間にしてはどうか。
 - 山田川沿いの道路は歩行者専用の道路にできないか。
 - ヤナ場があると良いのでは（昔はあった/山田川）。
 - 川沿いに屋台やキッチンカーが出せると良い。
 - 川沿いなどを飲みながら歩けると良い。

交流・文化・まちなか居住拠点の形成に関わる意見

- 温泉を買い上げて地元の人が入れるような温泉センターにしてはどうか。観光客が入るにもマナーを守ってもらうことが必要。
- 人を呼ぶには駐車場はどうするか？まちなかに点在している駐車場を集約したり、立体駐車場にするなどが考えられる。立体駐車場は避難場所にもなる。
- 温泉を活かした健康的な施設をつくる（鶯温泉など）。
- 市民が集う複合施設（次のような機能を有する施設/図書館、学童保育、喫茶店、ほっとステーション九ちゃんクラブ、日本文化の体験（着付け、茶道）、市民用の習い事教室、市民会館（イベント会場）、市民と観光客が利用でき、楽しめる場、民間による運営、カルチャーパレスほどの規模は必要ない）。
- 図書館、偉人記念館等を検討。（候補案1）「動」の東九日町、「静」の西九日町との位置づけとし、空地が多い鶯温泉の周辺等（候補案2）地盤が高く空地がある鍛冶屋町通りと大工町通りの交差点北東部等

中心市街地西側再生案

復興未来の杜エリア
古代中世の杜（青井神社周辺）
中世近世の杜（城址公園周辺）
復興未来の杜（紺屋町、九日町等周辺）
3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を促し環境共生型都市として未来型復興を図る

賑わい・観光・交流拠点の形成



復興型商店街の再生



交流・文化・まちなか居住拠点の形成



まちの玄関口としての景観形成



歴史的な町並みの形成



生業・生活支援拠点の形成



雨水浸透緑地帯の導入



桜の植樹を検討



賑わい・観光・交流拠点の形成



球磨川プロムナード軸の形成



癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成



紺屋町通り・大工町通りに関わる意見

- ・夜のにぎわいの中心。

九日町通り（国道445号）に関わる意見

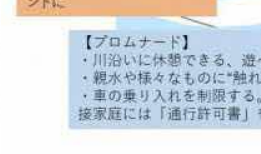
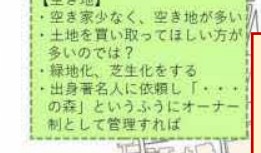
- ・市道にしては、歩道を広く歩けるようにしてはどうか。
- ・片側通行にする。車の速度制限をする。
- ・観光回遊性を高める。自転車道、植樹帯の検討。
- ・道路拡幅は必要ない。
- ・そぞろ歩きができる商店街としてはどうか。
- ・1階（商店街）、2階、3階 居住地（UIJ、外国人向け）。
- ・旅館から西側はそぞろ歩きしやすいように車道を狭く歩道を広げる。
- ・代官山ヒルサイドテラス、鳶屋を中心とした空間のイメージ。小さな店が多い方が歩いて楽しい。
- ・着物を着て、散歩、ひかりの復興計画と連動。
- ・九日町通りにwi-fiを通して。

癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成に関わる意見

- ・青井阿蘇神社、願成寺をつなぐプロムナードを活かす地区としてはどうか。
- ・札の辻駐車場敷地の活用を検討。（活用案1）ランドマーク複合商業センター（スーパー等（1階）、観光ビジターセンター、偉人館、映画館、ホテル、シェアオフィス、/例 唐津市カラエ）。（活用案2）駐車場がないので、九日町通り沿いなどに立体駐車場+レンタサイクルの貸し出し。

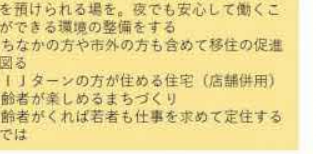
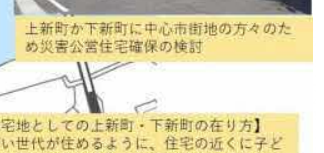
（中心市街地東側再生案に対する主な意見）

中心市街地東側再生案



- ・旧中津留美術館を活かした喫茶店などは景観が好まれない。
- ・四季を通して素晴らしいロケーション。
- ・東校区は公共施設がない。城見庭園は、東校区の憩いの場である。町会で花を植えるなど市民で活用したい。
- ・ミニ図書館などがあると良い。
- ・3～4年前にお祭りも実施した。

青井阿蘇神社から発船場までは商業地として、発船場より東側は住宅地としての整備が必要。



中心市街地は、人吉市の中心地として、賑わい・活力を形成するためくらしの再生や避難対策とともに「人吉らしさ」「各町の特長」を活かしたまちづくりの方針や具体的な整備手法を中心に検討を進めています。

歴史的な町並みの形成に関わる意見

- ・昔の街並みを残す。
- ・十軒町通り（じっけんまち）は老舗が建ち並ぶ。電線地中化検討。
- ・鍛冶屋町通りは歴史的な街並み形成を図る。

生業・生活支援拠点の形成に関わる意見

- ・コンテナマルシェは青空レストランができるような投資を検討していきたい。コインランドリーにおしゃれな喫茶店がついたようなものができれば日常的に人の流れができるのでは。
- ・コンテナマルシェは青空イートイン、通常の民間事業へ若者がスタートアップできる場所へ。
- ・中心部に生活を組み込む動きをつくる。（例 小さい子供用の遊具がある、中高生の部活動の場がある、一般の人の趣味やお花の稽古等の場がある等）。
- ・コート93の裏側の活用を検討。（緑地で事業、子供が走り回れる場づくり、部活動の受け皿を、昔の中央市場という物語性がある）。
- ・石蔵は住んでいる人がより使える活用方法を検討（例 キャンドルナイト、絵を描いている人が見える、吹奏楽、音楽イベント）+観光。
- ・まちづくり会社を準備していきたい。

球磨川プロムナード軸の形成に関わる意見

- ・遊歩道整備+遊歩道沿いに球磨川に向けた入口のある店舗を検討。
- ・自然に近いつくりにする（緑、自然素材、石垣等）。
- ・川沿いに桜の植樹、並木を作ってはどうか。
- ・昔は球磨川でカワセミ、山田川でヤマセミを見ることができた。紺屋町周辺では両方見れた。そのような環境に戻したい。
- ・高い建物で花火が見えなくならないようにしたい。昔は花火を中川原や舟からも見たりしていた。
- ・川に入る（舟）イベント、集客、宿泊施設とも連携したい。

道路沿道に店舗を設けるといふより、散歩ができる河川沿いに店舗を誘致しては。

サイクリングロードは自転車専用道路にはなっていないので危険では。

川までの距離は変わらないため、被災前のカヌーの艇庫を再建するべき。

「HASSENBA」に泉源があり所有者は球磨川くだり(株)である。泉源活用などに向けて協力依頼はできるのではないかな。

【住宅地としての上新町・下新町の在り方】
・若い世代が住めるように、住宅の近くに子どもを預けられる場を。夜でも安心して働くことができる環境の整備をする。
・まちなかの方や市外の方も含めて移住の促進を図る。
・U・I・ターンの方が住める住宅（店舗併用）
・高齢者が楽しめるまちづくり
→高齢者がくれば若者も仕事を求めて定住するのでは